



まさかの時の備え!



子供たちが楽しみにしている水泳の授業が始まります。それに先立って、本校では養護の松本先生が企画した心肺蘇生法講習会を、昨日2日(水)に全職員が参加して行いました。日赤のインストラクターの指導の下、心肺蘇生法訓練用のダミー人形を使用し、胸骨圧迫の正しいやり方や、AEDの使用方法など真剣に学ぶことができました。

我が国では119番通報してから救急車が現場に到着するまで平均8.9分(R3 総務省資料)かかり、救急隊が処置をするには、さらに数分を要します。講習会では、救急車を待つ間に、教職員が子供たちの命を守ることができるよう、一人一人が技術の習得に励みました。

そうした事故が起こらないことが大事ですが、まさかの時の備えとして、今後も安全指導、安全対策を油断なく行なっていきたいと思います。

ビブスの日向ぼっこ

今朝、校内を巡回していると、中庭に色とりどりのビブスが干されていました。6学年主任の松永先生に尋ねると、運動会の時に使ったビブスを6年生が洗濯し、干してくれたそうです。他にも国旗や校旗なども6年生がアイロンがけをしてくれました。

学校のリーダーとしてたくさんの役割を果たしてくれる6年生の姿からは、帯西イエローの「役割を自覚しよりよい学級や学校をつくる」の心を感じました。ビブスも陽光の中、気持ちよさそうに日向ぼっこをしているようでした。



トウモロコシの皮むき



今日の給食の献立の中の一つに、トウモロコシが出ました。今が旬のトウモロコシですが、その皮むきを1年生が生活科の時間の中でしてくれました。1年生は、トウモロコシと格闘しながら、大喜びで皮むきに挑戦していました。今回のトウモロコシは、生でも食べることができるくらい新鮮だそうです。1年生が全校児童分のトウモロコシの皮むきをしてくれたおかげで、今日の給食は、美味しさが増していました。1年生の皆さんには、帯西ブルーの「命を感じる心」が育まれていました。